

2020年度第1四半期決算の概要及び 2020年度業績予想の概要

三井化学株式会社

2020年8月13日

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

目次

1. 2020年度第1四半期決算の概要	
1) 2020年度第1四半期 事業概況及びトピックス	…1、2
2) 決算の概要	…3、4
3) セグメント別 売上収益・コア営業利益の内訳（増減分析 対前年決算）	…5
4) 非経常項目の内訳	…6
5) 財政状態計算書	…7
6) キャッシュ・フロー計算書	…8
2. 2020年度業績予想の概要	
1) 2020年度第2四半期以降のトピックス	…9
2) 業績予想の概要	…10
3) セグメント別 売上収益・コア営業利益の予想（対前年決算）	…11
4) セグメント別 コア営業利益の予想（対前回予想）	…12
5) キャッシュ・フロー計算書	…13
3. 補助資料	…14~22

1. 2020年度第1四半期決算の概要

1) 2020年度第1四半期 事業概況及びトピックス

<事業概況>

- ◆ **モビリティ**：エラストマー、機能性コンパウンド、海外ポリプロピレン・コンパウンド及びソリューション事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、グローバルな自動車生産台数の落ち込みに伴い、販売が減少した。機能性ポリマーは、全般としてICT関連需要が停滞する中で、確実な需要に的確に対応した。
- ◆ **ヘルスケア**：ビジョンケア材料及び歯科材料は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、販売が減少した。不織布は、おむつ、マスク及び医療用ガウン向けの販売が堅調に推移した。
- ◆ **フード&パッケージング**：新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、コーティング・機能材は販売が減少した。機能性フィルム・シートは、包装用フィルム分野及び産業用フィルム分野の販売が堅調に推移。農薬は販売が堅調に推移した。
- ◆ **基盤素材**：ナフサクラッカーの稼働は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に起因する川下製品の需要減少の影響を受け低下した。ポリプロピレンは、主に自動車用途で需要の鈍化の影響を受けた。アセトンの海外市況は、消毒用途の川下製品の需要増加の影響により、前年を上回る水準で推移した。

1) 2020年度第1四半期 事業概況及びトピックス

<第1四半期のトピックス>

- ・医療用ガウン向け不織布供給（4月発表）
- ・環状オレフィンコポリマー「アペル®」生産能力増強（20年4月着工 22年3月完工 +1ライン）
- ・松風との業務・資本提携強化（5月発表）
- ・アーク完全子会社化（5月発表）
- ・シンガポールにおける「 α -メチルスチレン」生産設備完工（20年5月、2万トン/年）
- ・PPコンパウンド オランダ拠点 営業運転開始（20年6月、3万トン/年）
- ・マスク用ノーズクランプ「テクノロート®」生産能力増強（20年6月着工 20年10月完工 +1ライン）

2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	19年度 4-6月	20年度 4-6月	増減	増減率
売上収益	3,450	2,545	△ 905	△26%
コア営業利益	245	6	△ 239	△98%
(うち、持分法による投資損益)	22	△ 12	△ 34	-
非経常項目	△ 24	△ 6	18	-
営業利益	221	△ 0	△ 221	-
金融収益・費用	△ 10	△ 5	5	-
税引前 四半期利益	211	△ 5	△ 216	-
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	125	△ 23	△ 148	-

為替レート(円/US\$)	110	108	△ 2
国産ナフサ(円/KL)	45,400	25,000	△ 20,400

2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	20年3月末	20年6月末	増減	増減率
有利子負債	5,994	6,524	530	9%
Net 有利子負債	4,277	4,143	△ 134	△ 3%
親会社の所有者に帰属する持分	5,292	5,236	△ 56	△ 1%
Net D / E レシオ (倍)	0.81	0.79	△ 0.02	-
親会社所有者帰属持分比率 (%)	34.6	34.6	0.0	-

(単位：社)

摘 要	20年3月末	20年6月末	増減
連結対象会社数			
連結子会社	125	122	△ 3
共同支配事業 (JO*)	4	4	-
持分法適用会社	27	27	0
連結対象会社計	156	153	△ 3

*ジョイント・オペレーション

3) セグメント別 売上収益・コア営業利益の内訳 (増減分析 対前年決算)

(単位：億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	19年度 4-6月	20年度 4-6月	増減	19年度 4-6月	20年度 4-6月	増減	数量差	交易条件	固定費他
モビリティ	944	583	△ 361	117	23	△ 94	△ 82	△ 3	△ 9
ヘルスケア	352	289	△ 63	37	14	△ 23	△ 41	0	18
フード & パッケージング	473	454	△ 19	31	44	13	6	2	5
基盤素材	1,637	1,186	△ 451	76	△ 63	△ 139	△ 39	△ 71	△ 29
その他	44	33	△ 11	△ 16	△ 12	4	-	-	4
合計	3,450	2,545	△ 905	245	6	△ 239	△ 156	△ 72	△ 11
成長3領域*	1,769	1,326	△ 443	185	81	△ 104			

*モビリティ、ヘルスケア、フード&パッケージング

4) 非経常項目の内訳

(単位：億円)

摘 要	19年度 4-6月	20年度 4-6月	増減
固定資産処分・売却損	0	△ 4	△ 4
減 損 損 失	△ 7	—	7
関 連 事 業 損 失	△ 6	△ 0	6
そ の 他	△ 11	△ 2	9
非経常項目 合計	△ 24	△ 6	18

5) 財政状態計算書

(単位：億円)

摘要	20年3月末	20年6月末	増減	摘要	20年3月末	20年6月末	増減
流動資産	(7,818)	(7,633)	(△ 185)	負債	(9,208)	(9,121)	(△ 87)
現金及び 現金同等物	1,646	2,308	662	営業債務	1,210	849	△ 361
営業債権	2,739	2,241	△ 498	有利子負債	5,994	6,524	530
棚卸資産	2,843	2,601	△ 242	その他	2,004	1,748	△ 256
その他	590	483	△ 107	資本	(6,097)	(6,012)	(△ 85)
非流動資産	(7,487)	(7,500)	(13)	親会社の所有者に 帰属する持分	5,292	5,236	△ 56
有形固定資産及び 使用権資産	4,997	4,962	△ 35	非支配持分	805	776	△ 29
のれん及び 無形資産	262	256	△ 6				
非流動の その他の資産	2,228	2,282	54				
合計	15,305	15,133	△ 172	合計	15,305	15,133	△ 172

6) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	19年度 4-6月	20年度 4-6月	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	178	503	325
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 207	△ 249	△ 42
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	△ 29	254	283
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 46	412	458
IV. その他	△ 8	△ 4	4
現預金等増減	△ 83	662	745

2. 2020年度業績予想の概要

1) 2020年度第2四半期以降のトピックス

<トピックス(予定)>

- ・PPコンパウンド タイ拠点 生産能力増強 (20年9月営業運転開始、+1.3万トン/年)
- ・EUVペリクル生産設備新設
(20年度第2四半期完工、21年度第2四半期営業運転開始)
- ・高機能エラストマー「タフマー®」生産能力増強
(20年第3四半期以降完工、+2.5万トン/年)
- ・大阪工場におけるガスタービン新設 (20年11月営業運転開始、30MW)
- ・中国におけるガラス長繊維強化ポリプロピレン生産設備新設
(20年12月営業運転開始、3,500トン/年)
- ・市原工場における高純度プロピレン増強 (20年12月営業運転開始)

2) 業績予想の概要

*1 IFRSに基づく19年度決算値は20年度業績予想との比較を目的に作成したものであり、監査証明を受けたものではありません。 (単位：億円)

摘 要	19年度決算 *1 (IFRS) (a)		20年度予想 (IFRS) (b)		増減 (b)-(a)		20年度前回予想 (20.5.14発表)
	4-9月	年度	4-9月	年度	年度	%	
売上収益	6,787	13,495	5,400	11,700	△ 1,795	△13%	11,450
コア営業利益	397	723	50	400	△ 323	△45%	350
非経常項目	△ 28	△ 77	10	20	97	—	20
営業利益	369	646	60	420	△ 226	△35%	370
金融収益・費用	△ 13	△ 38	△ 10	△ 30	8	—	△ 30
税引前利益	356	608	50	390	△ 218	△36%	340
親会社の所有者に 帰属する当期利益	204	340	10	270	△ 70	△21%	200
為替レート(円/US\$)	109	109	108	108	△ 1		108
国産ナフサ(円/KL)	42,800	42,900	27,500	28,750	△ 14,150		23,300

配 当	中間	期末	中間	期末	中間増減	期末増減	期末
	50 円/株	50 円/株	50 円/株	50 円/株	+0円/株	+0円/株	
通期 100 円/株		通期 100 円/株		+0円/株			

3) セグメント別 売上収益・コア営業利益の予想 (対前年決算)

*1 IFRSに基づく19年度決算値は20年度業績予想との比較を目的に作成したものであり、監査証明を受けたものではありません。

(単位：億円)

セグメント	売上収益 (IFRS)					コア営業利益 (IFRS)				
	19年度決算 *1		20年度予想		増減 (b) - (a)	19年度決算 *1		20年度予想		増減 (d) - (c)
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)		4-9月	年度 (c)	4-9月	年度 (d)	
モビリティ	1,873	3,679	1,300	3,000	△ 679	223	432	60	275	△ 157
ヘルスケア	698	1,432	630	1,400	△ 32	57	130	40	130	0
フード & パッケージング	966	2,013	900	1,950	△ 63	76	167	75	160	△ 7
基盤素材	3,160	6,195	2,500	5,200	△ 995	67	91	△ 90	△ 95	△ 186
その他	90	176	70	150	△ 26	△ 26	△ 97	△ 35	△ 70	27
合計	6,787	13,495	5,400	11,700	△ 1,795	397	723	50	400	△ 323
成長3領域 *2	3,537	7,124	2,830	6,350	△ 774	356	729	175	565	△ 164

*2 モビリティ、ヘルスケア、フード&パッケージング

4) セグメント別 コア営業利益の予想 (対前回予想)

(単位：億円)

セグメント	20年度 コア営業利益			主要増減要因
	前回予想 (20.5.14発表)	今回予想	増減	
モビリティ	275	275	0	販売数量(-)、固定費(+) 等
ヘルスケア	105	130	25	販売数量(+)、固定費(+) 等
フード & パッケージング	160	160	0	
基盤素材	△ 115	△ 95	20	販売数量(-)、交易条件(+) 等
その他	△ 75	△ 70	5	
合計	350	400	50	

5) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	19年度決算 (日本基準)		20年度予想 (IFRS)		20年度(IFRS) 前回予想 (20.5.14発表)
	4-9月	年度	4-9月	年度	年度
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	745	1,150	650	1,350	1,300
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 417	△ 852	△ 600	△ 1,200	△ 1,200
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	328	298	50	150	100
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 191	90	610	300	△ 150
IV. その他	△ 13	△ 13	—	—	—
現預金等増減	124	375	660	450	△ 50

3. 補助資料

- 1) 製品価格の状況
- 2) セグメントの増減概要（売上収益・コア営業利益）
- 3) セグメント別 売上収益・コア営業利益の内訳（四半期別）
- 4) 財務データ
- 5) 地域別売上収益比率

1) 製品価格の状況

(PE国内、PP国内、PH国内、BPA国内：国内価格改定幅)

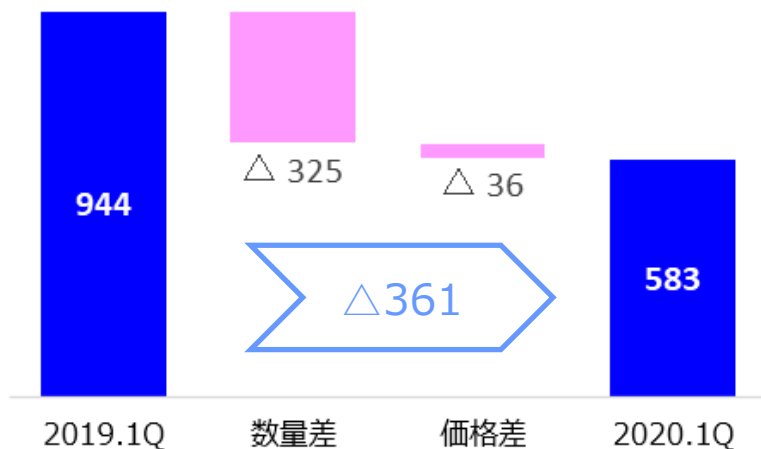
年		2017年		2018年				2019年				2020年	
月		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
国産標準 ナリ価格	(円/KL)	36,100	44,600	47,900	48,800	53,500	54,200	41,200	45,400	40,200	41,300	44,800	25,000
PE国内	(円/KG)	△5円 程度	+10円 程度	+10円 程度	→	+10円 程度	+10円 程度	△15円 程度	+10円 程度	→	△10円 程度	+10円 程度	△30円 程度
PP国内	(円/KG)	△5円 程度	+10円 程度	+10円 程度	→	+10円 程度	+10円 程度	△15円 程度	+10円 程度	→	△10円 程度	+10円 程度	△30円 程度
PH国内 (フォームリ価格)	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	+10円	→	→
BZ (*ACP)	(\$/T)	\$770	\$830	\$920	\$850	\$860	\$770	\$580	\$620	\$660	\$680	\$700	\$360
BPA国内	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	△15円 (4月~)	→	→	+5円 (1月~)	△15円 (6月~)
BZ・BPA市況をベースに都度交渉													
BPA 中国市況	(\$/T)	\$1,220	\$1,420	\$1,670	\$1,800	\$1,810	\$1,550	\$1,450	\$1,410	\$1,190	\$1,210	\$1,310	\$1,210
PTA 中国市況	(\$/T)	\$640	\$690	\$760	\$810	\$960	\$910	\$840	\$790	\$700	\$620	\$560	\$420
PX (*ACP)	(\$/T)	\$800	\$890	\$950	\$980	\$1,140	\$1,140	\$1,060	\$910	\$810	\$800	\$710	\$500
TDI 中国市況	(\$/T)	\$3,680	\$4,380	\$4,470	\$4,150	\$3,400	\$2,480	\$1,730	\$1,790	\$1,610	\$1,500	\$1,430	\$1,330

*ACP アジア圏契約価格

2-1) モビリティセグメントの増減概要 (売上収益・コア営業利益)

売上収益増減 (2020年度第1四半期決算 対 2019年度第1四半期決算)

(単位: 億円)



◆数量差 △325億円

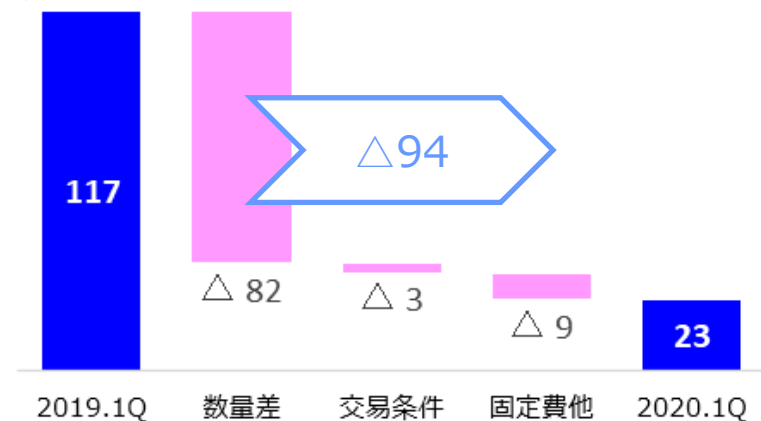
- ・エラストマー、機能性コンパウンド、海外PPコンパウンド、ソリューション事業は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるグローバル自動車生産減速の影響を受けた。
- ・ICT関連用途の確実な需要に対応。

◆価格差 △36億円

- ・原料価格下落による販売価格の改定等。

コア営業利益増減 (2020年度第1四半期決算 対 2019年度第1四半期決算)

(単位: 億円)



◆数量差 △82億円

- ・エラストマー、機能性コンパウンド、海外PPコンパウンド、ソリューション事業は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるグローバル自動車生産減速の影響を受けた。
- ・ICT関連用途の確実な需要に対応。

◆交易条件 △3億円

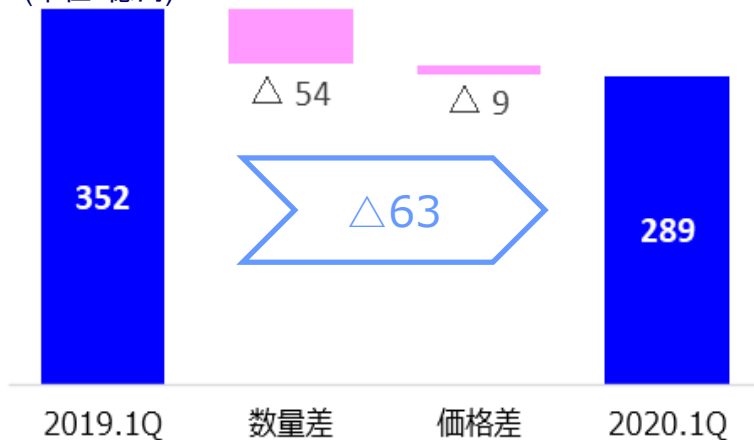
◆固定費他 △9億円

- ・持分法投資損益の悪化。
- ・在庫固定費影響等。

2-2) ヘルスケアセグメントの増減概要 (売上収益・コア営業利益)

売上収益増減 (2020年度第1四半期決算 対 2019年度第1四半期決算)

(単位: 億円)



◆数量差 △54億円

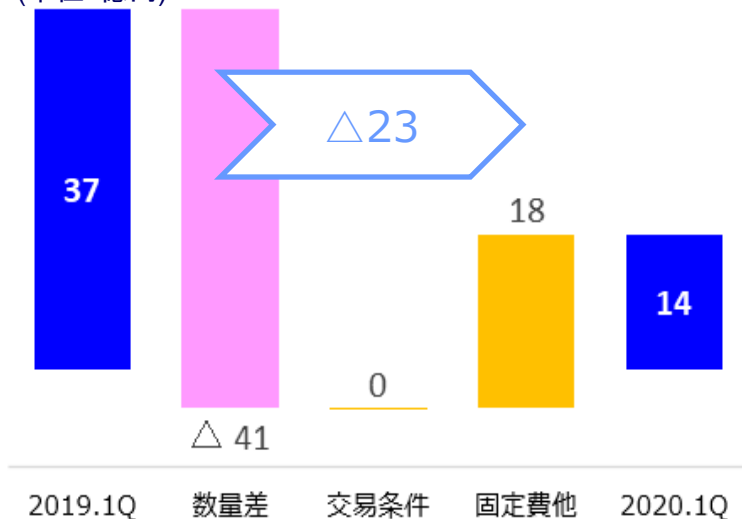
- ・ビジョンケア材料、歯科材料は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた。
- ・不織布は、おむつ、マスク及び医療用ガウン向けの販売堅調。

◆価格差 △9億円

- ・原料価格下落による販売価格の改定等。

コア営業利益増減 (2020年度第1四半期決算 対 2019年度第1四半期決算)

(単位: 億円)



◆数量差 △41億円

- ・ビジョンケア材料、歯科材料は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた。
- ・不織布は、おむつ、マスク及び医療用ガウン向けの販売堅調。

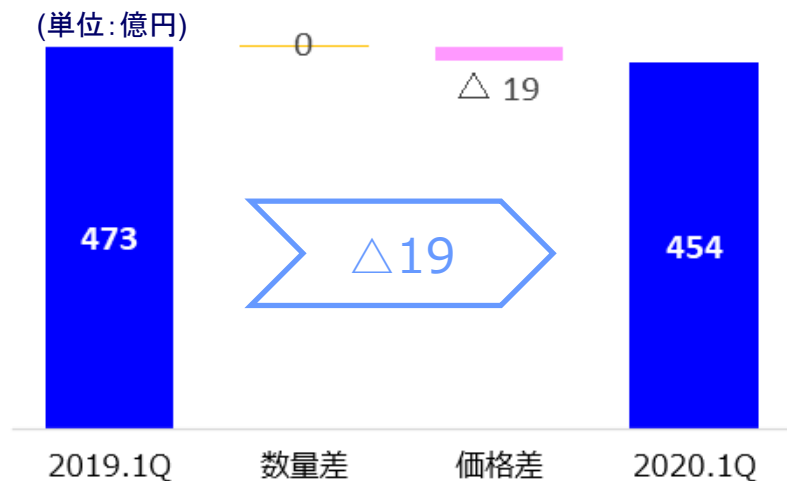
◆取引条件 ±0億円

◆固定費他 +18億円

- ・コストダウン等。

2-3) フード&パッケージングセグメントの増減概要 (売上収益・コア営業利益)

売上収益増減 (2020年度第1四半期決算 対 2019年度第1四半期決算)



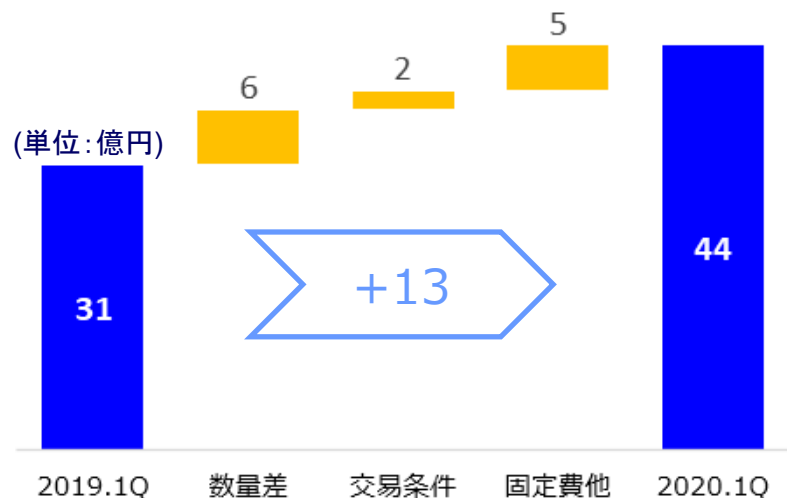
◆数量差 ±0億円

- ・包装用フィルム、産業用フィルム及び農薬の販売堅調。
- ・コーティング・機能材は新型コロナウイルス感染症拡大により販売減少。

◆価格差 △19億円

- ・原料価格下落による販売価格の改定等。

コア営業利益増減 (2020年度第1四半期決算 対 2019年度第1四半期決算)



◆数量差 +6億円

- ・包装用フィルム、産業用フィルム及び農薬の販売堅調。
- ・コーティング・機能材は新型コロナウイルス感染症拡大により販売減少。

◆交易条件 +2億円

- ・原料価格下落による交易条件改善等。

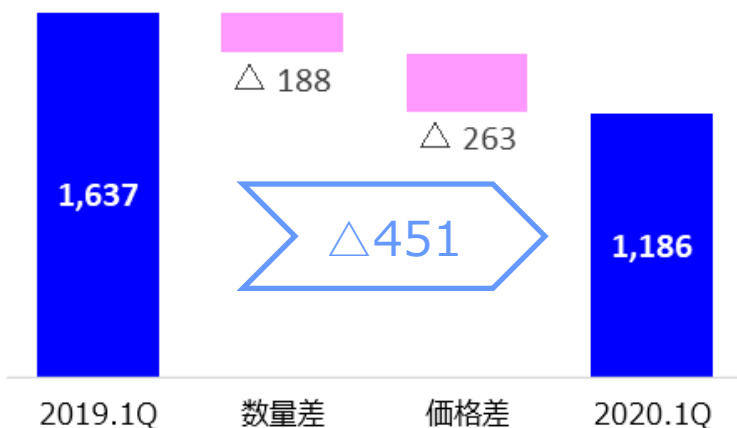
◆固定費他 +5億円

- ・コストダウン等。

2-4) 基盤素材セグメントの増減概要 (売上収益・コア営業利益)

売上収益増減 (2020年度第1四半期決算 対 2019年度第1四半期決算)

(単位: 億円)



◆数量差 △188億円

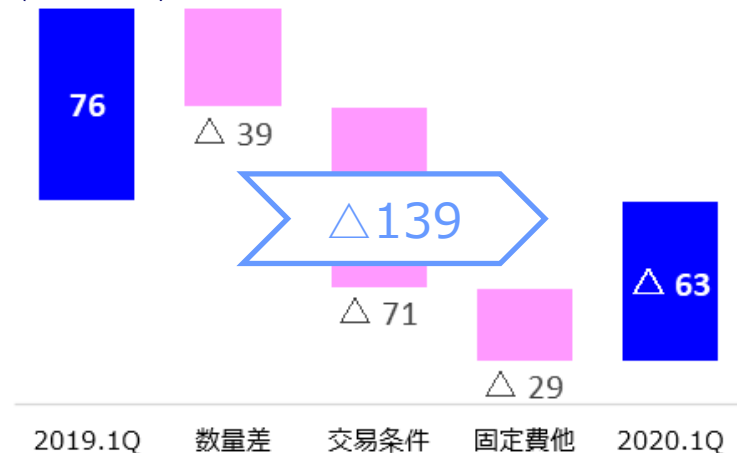
・オレフィン及びポリプロピレンの販売減少。

◆価格差 △263億円

・原料価格下落による販売価格の改定。
・海外市況下落等。

コア営業利益増減 (2020年度第1四半期決算 対 2019年度第1四半期決算)

(単位: 億円)



◆数量差 △39億円

・オレフィン及びポリプロピレンの販売減少。

◆交易条件 △71億円

・在庫評価差等。

◆固定費他 △29億円

・持分法投資損益悪化。
・在庫固定費影響等。

3) セグメント別 売上収益・コア営業利益の内訳 (四半期別)

(単位：億円)

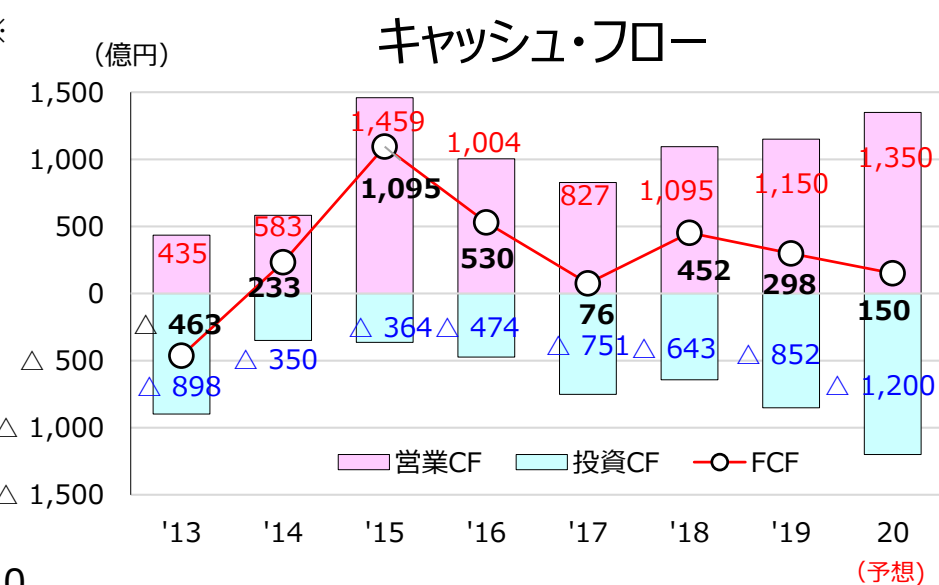
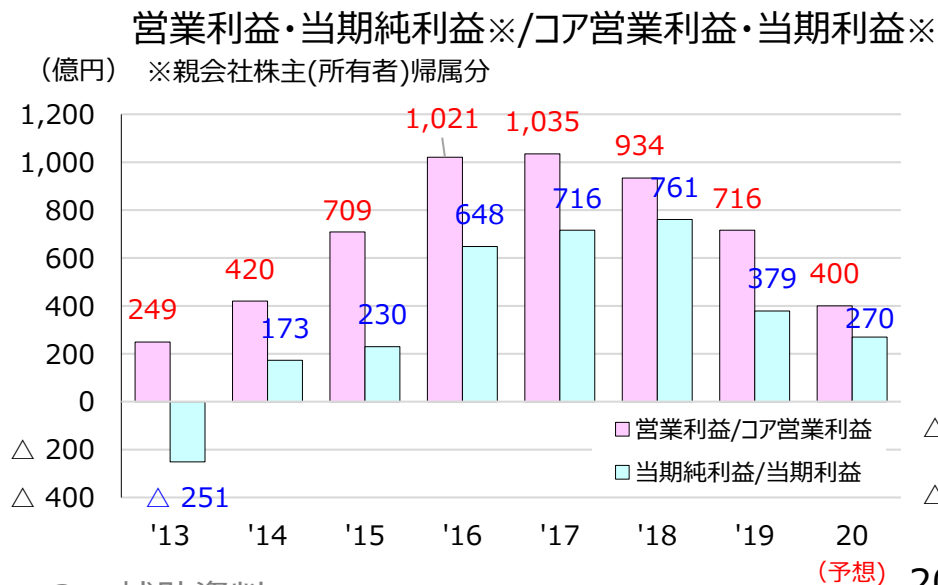
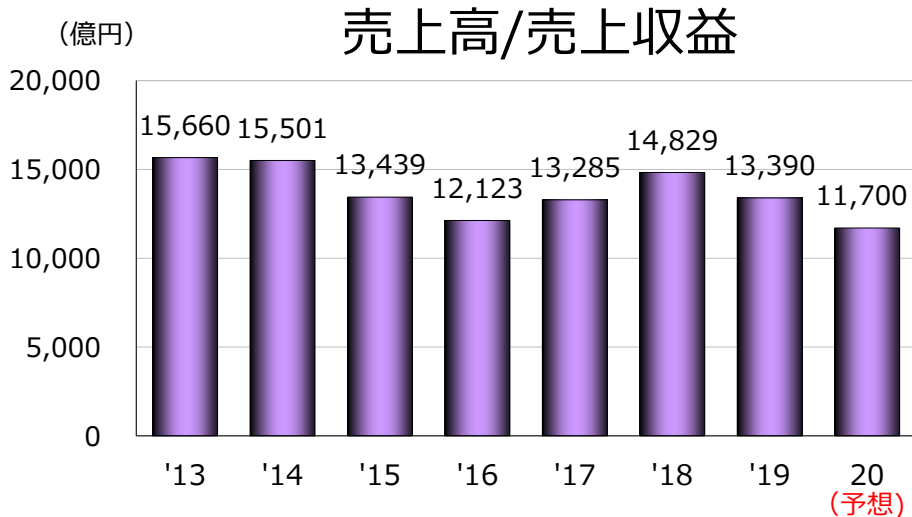
セグメント	売上高 (日本基準)				売上収益 (IFRS)	
	19年度				19年度	20年度
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	4-6月
モビリティ	941	934	902	899	944	583
ヘルスケア	352	345	370	363	352	289
フード&パッケージング	456	474	464	544	473	454
基盤素材	1,635	1,523	1,464	1,547	1,637	1,186
その他	44	45	42	46	44	33
合計	3,428	3,321	3,242	3,399	3,450	2,545

(単位：億円)

セグメント	営業利益 (日本基準)				コア営業利益 (IFRS)	
	19年度				19年度	20年度
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	4-6月
モビリティ	101	97	96	98	117	23
ヘルスケア	38	22	38	40	37	14
フード&パッケージング	33	46	39	63	31	44
基盤素材	61	△ 12	37	1	76	△ 63
その他	△ 26	△ 15	△ 25	△ 16	△ 16	△ 12
合計	207	138	185	186	245	6

4-1) 財務データ

注) ~19年度：日本基準 / 20年度：IFRS

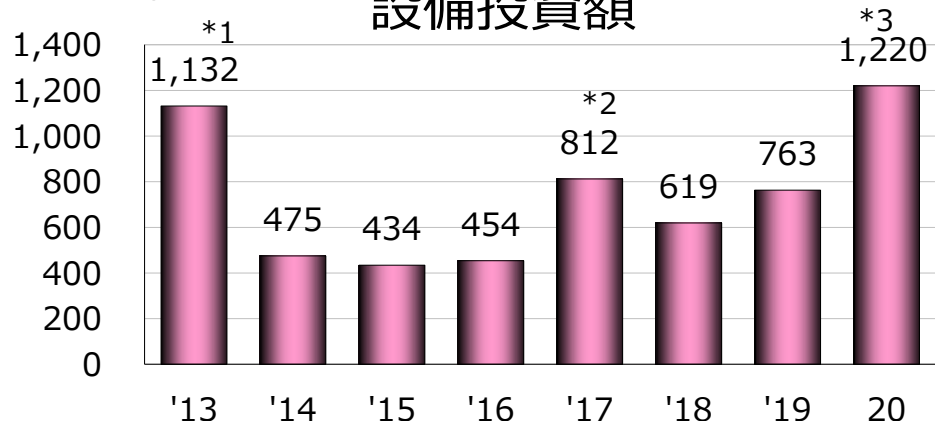


4-2) 財務データ

注) ~19年度：日本基準 / 20年度：IFRS

(億円)

設備投資額



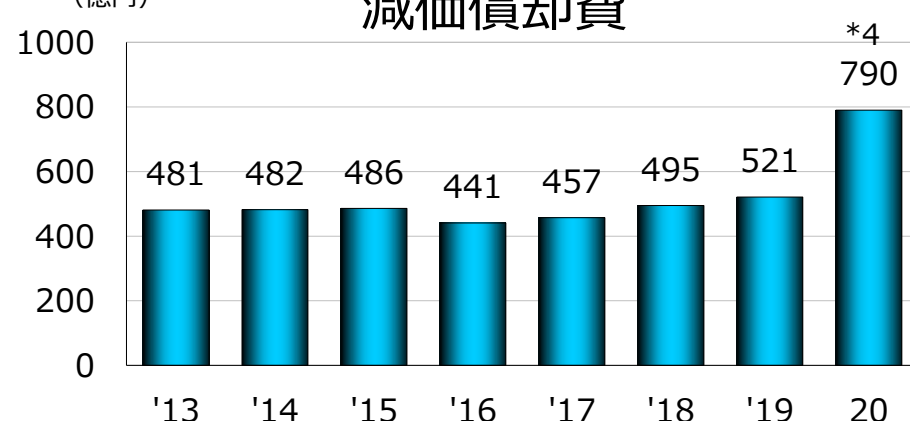
*1. ヘルス社歯科材料事業買収影響 (560億円) を含む

*2. アーク社株式取得影響(239億円)を含む

*3. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(設備投資額増加)を含む

(億円)

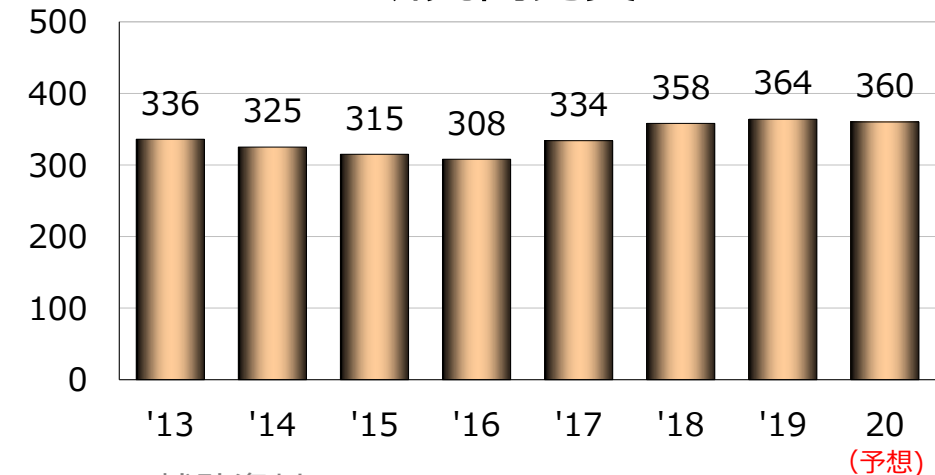
減価償却費



*4. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(減価償却費増加)を含む

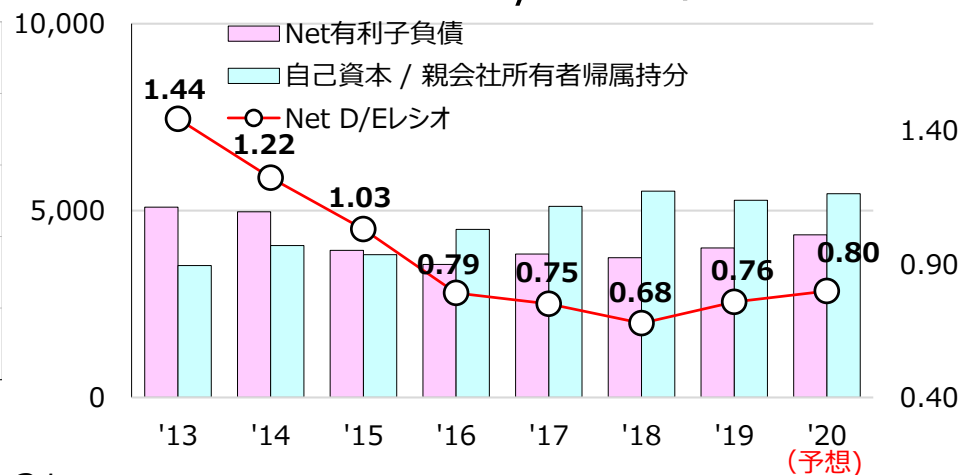
(億円)

研究開発費



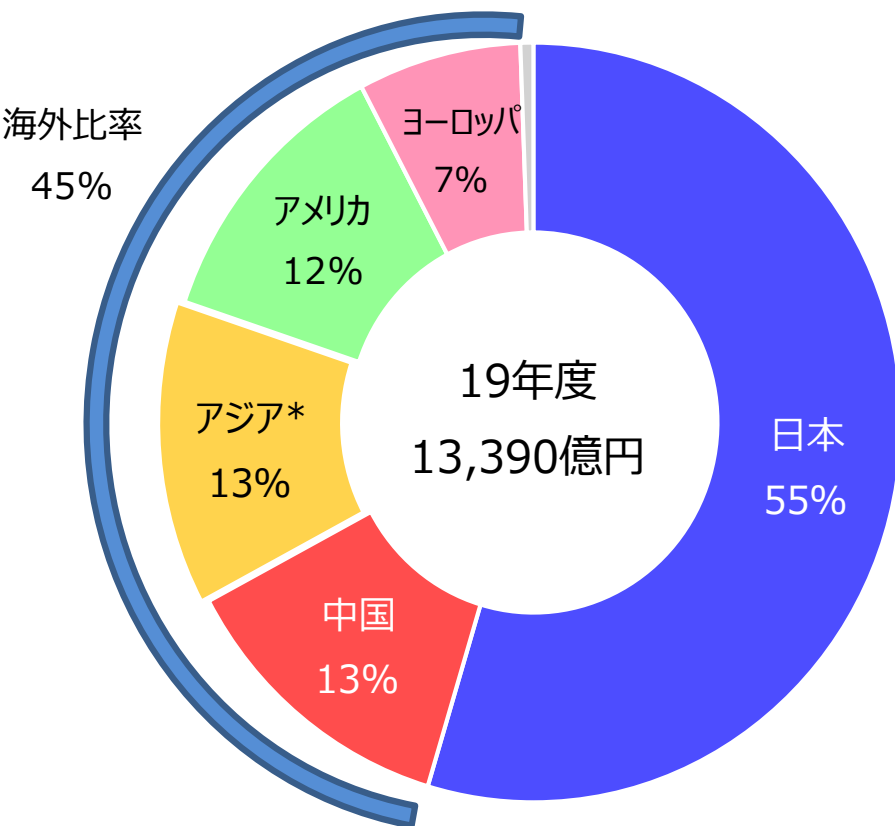
(億円)

Net D/Eレシオ

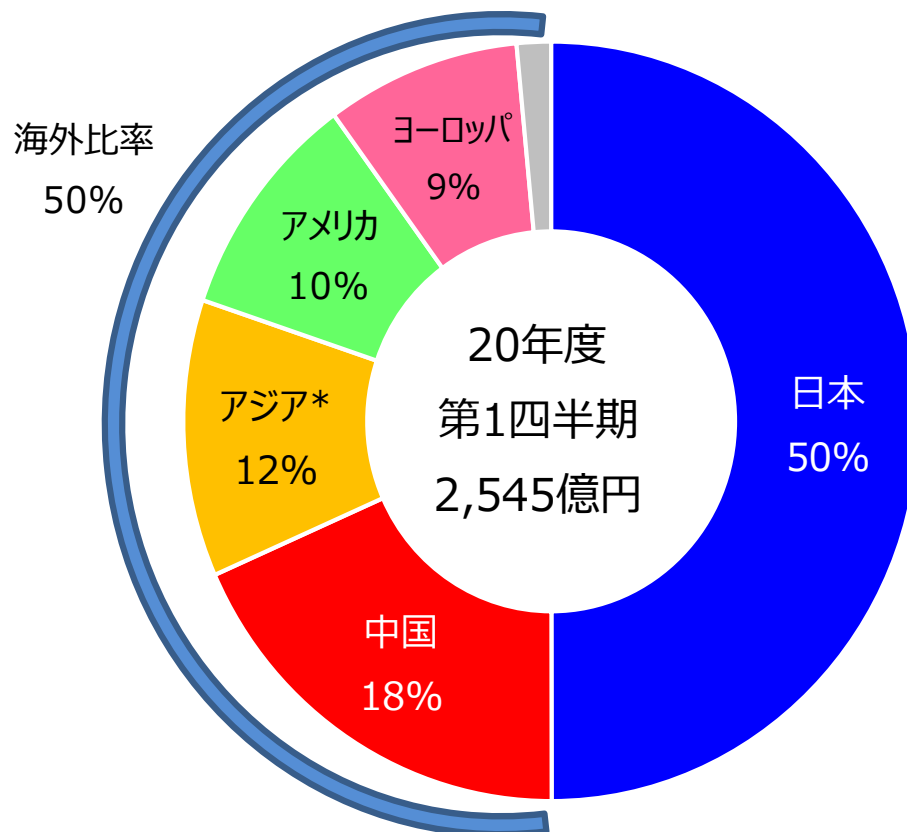


5) 地域別売上収益比率

日本基準



IFRS



* アジア：日本及び中国を除く



Mitsui Chemicals

新たな顧客価値を創造し、事業活動を通じて、
社会課題を解決する